

# 訪日外国人旅行者の現況と取組

---

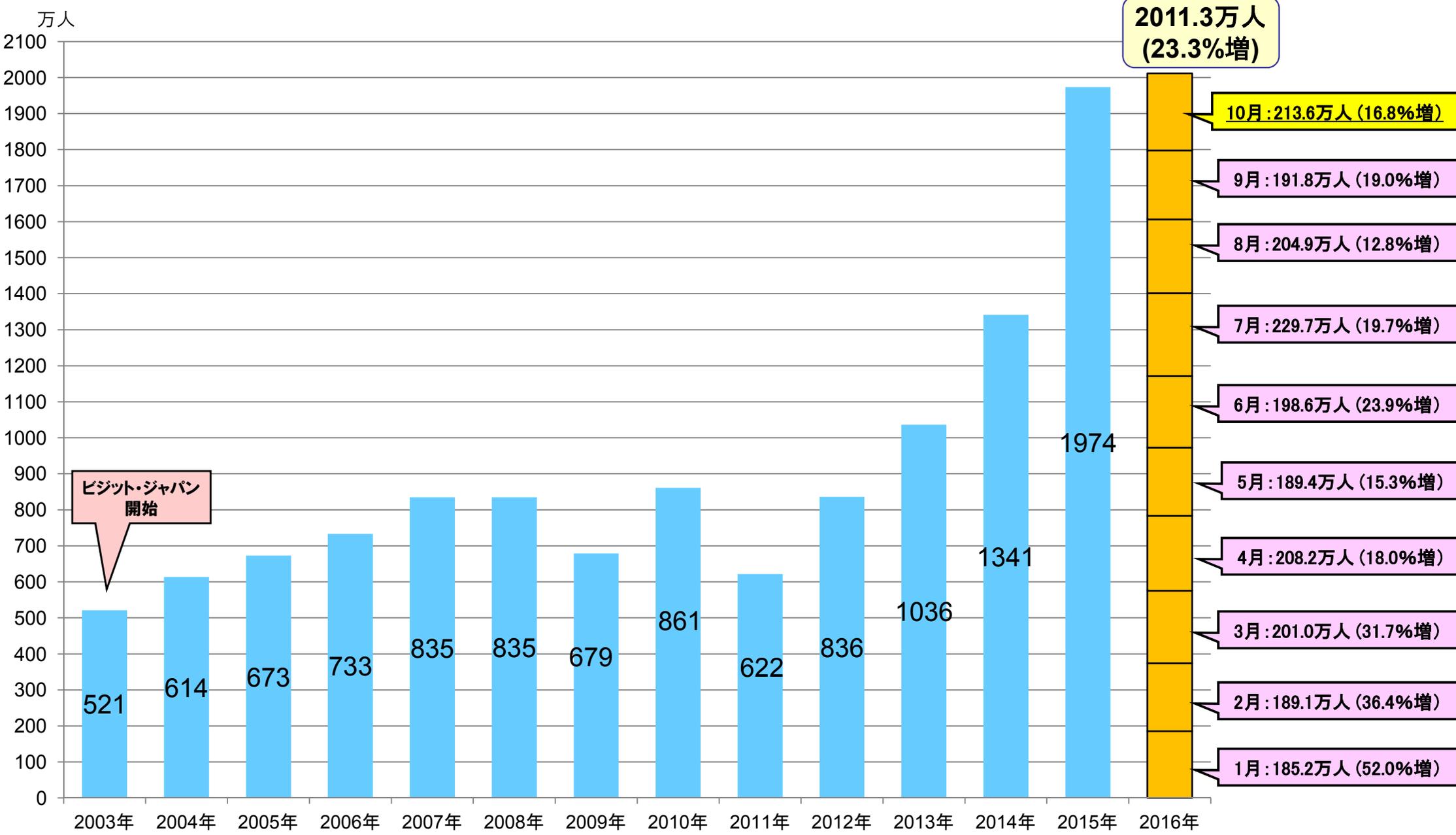


平成28年12月8日  
中部運輸局観光部



# 訪日外国人旅行者の受入体制

# 訪日外国人旅行者数の推移



注) 2015年の値は確定値、2016年1～8月の値は暫定値、2016年9月～10月の値は推計値、%は対前年(2015年)同月比

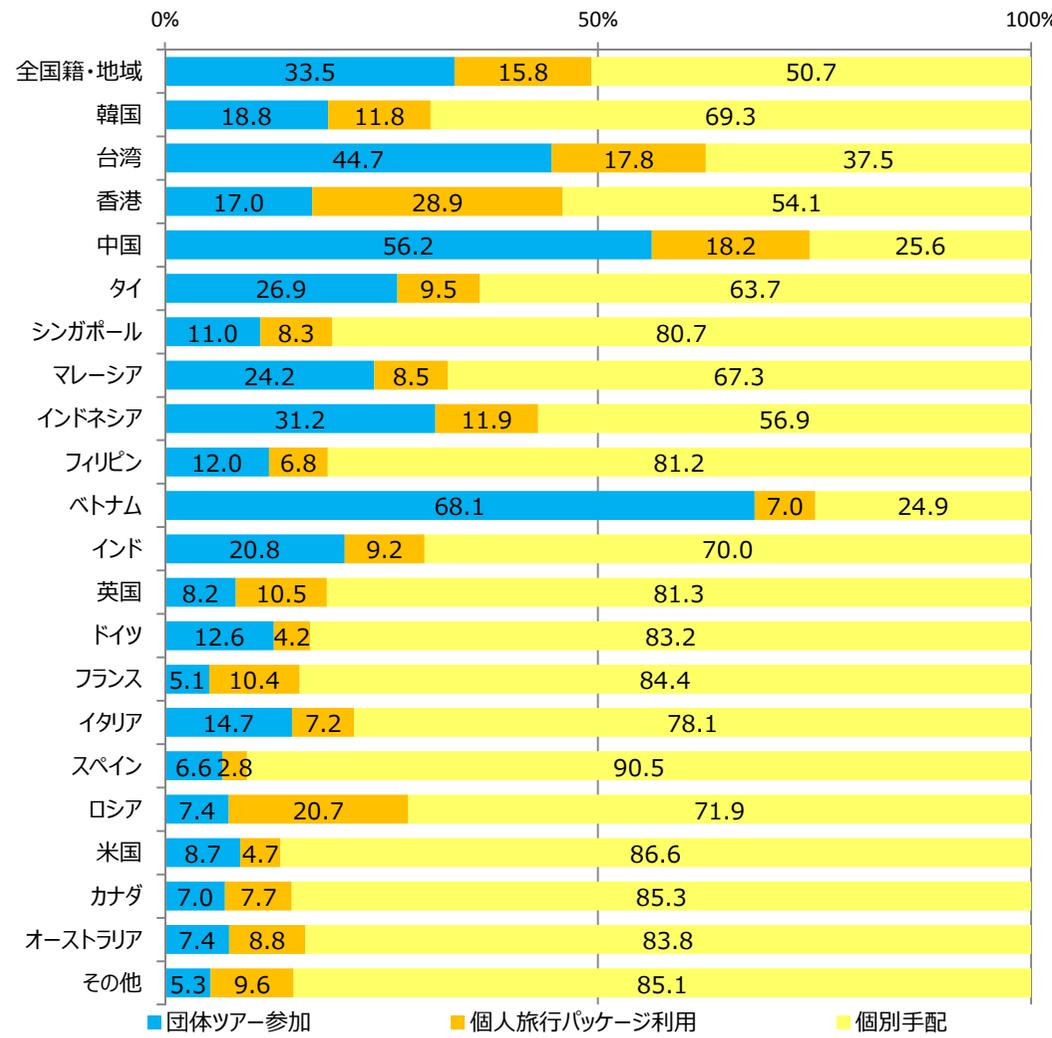
出典: JNTO(日本政府観光局)

# 訪日外国人の旅行手配方法と来訪回数（2015年）

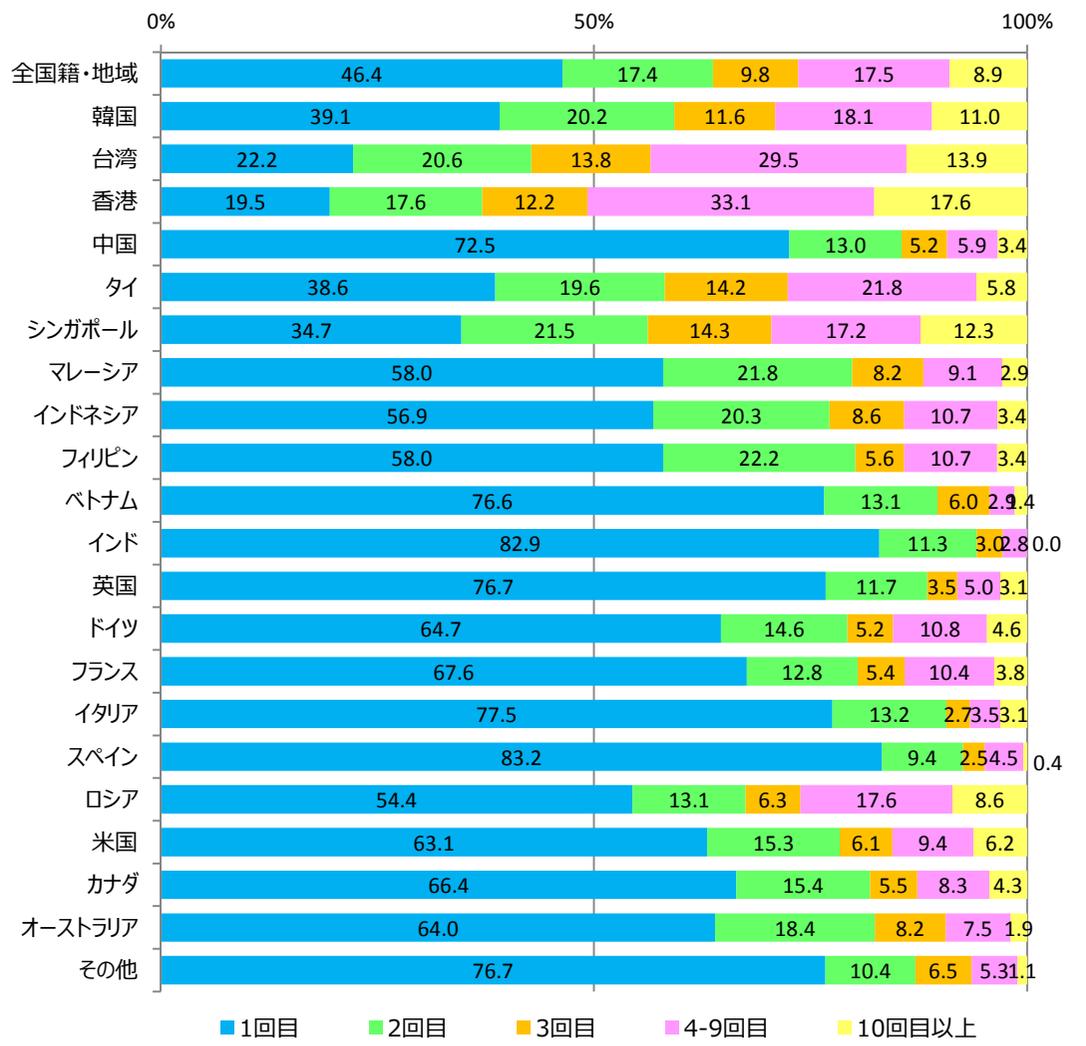


- ▶ 旅行手配方法は、全体では65%以上が個人旅行で、欧米はいずれも「個別手配」が7割を超えている。一方で「団体ツアー参加」の割合が中国及びベトナムで5割超と高い傾向にある。
- ▶ 日本への来訪回数は、全体の約半数以上が2回以上来訪している。国籍・地域別では、インド、英国、イタリアなどは「1回目」が多く、7割を超える。一方、韓国や台湾、香港、シンガポールでは「10回目以上」の割合が1割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

旅行手配方法（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



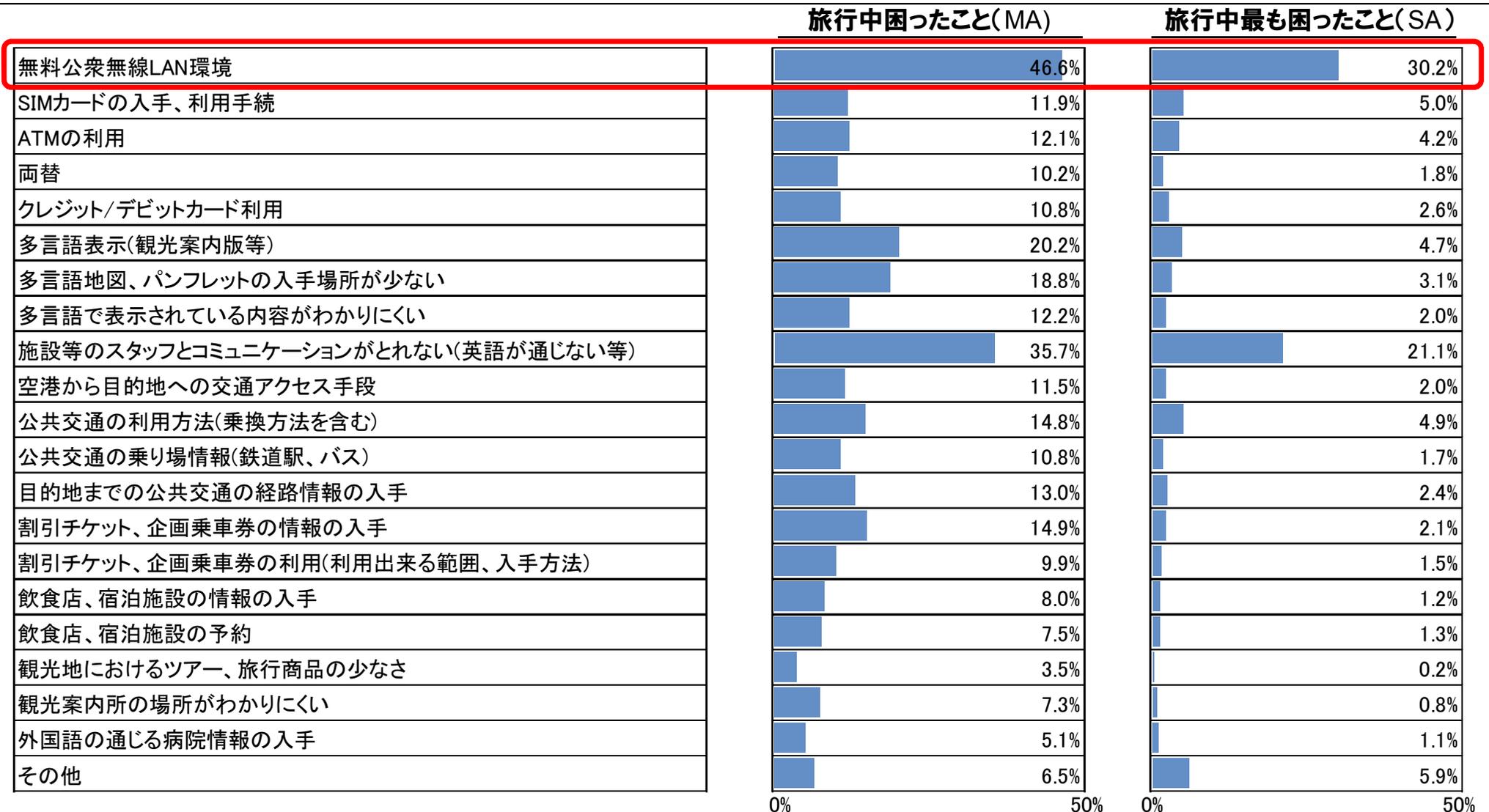
日本への来訪回数（国籍・地域別、観光・レジャー）



出典：観光庁「平成27年訪日外国人消費動向調査」

# 外国人旅行者が旅行中に困ったこと

- 旅行中困ったこととしては「無料公衆無線LAN環境」が46.6%で最も多い。
- 次いで「施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない」が35.7%、多言語表示が20.2%で続く。
- 旅行中最も困ったことについても傾向は同様であり、「無料公衆無線LAN環境」が30.2%、「施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない」が21.1%で上位を占める。



## 課題

■ 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。

■ 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。

■ CIQや宿泊施設、**通信**・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。

■ 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

### 「観光先進国」への「3つの視点」

#### 視点 1

「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

#### 視点 2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

#### 視点 3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

# 「明日の日本を支える観光ビジョン」 施策概要

## 1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

- **魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放**
  - ・赤坂や京都の迎賓館に加え、我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を一般向けに公開・開放
- **文化財の観光資源としての開花**
  - ・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化
- **国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化**
  - ・2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力を活かし、体験・活用型の空間へと集中改善
  - ・2020年までに、外国人利用者数を1000万人に
- **景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上**
  - ・2020年を目標に、原則として全都道府県、全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定
  - ・歴まち法の重点区域などで無電柱化を推進
- **滞在型農山漁村の確立・形成**
  - ・日本ならではの伝統的な生活体験と非農家を含む農村地域の人々との交流を楽しむ「農泊」を推進し、2020年までに全国の農山漁村で50地域創出
- **地方の商店街等における観光需要の獲得・伝統工芸品等の消費拡大**
  - ・2020年までに、商店街等において、50箇所で街並み整備、1500箇所で外国人受入環境整備
  - ・2020年までに、外国人受入可能な伝統的工芸品産地を100箇所以上に
- **広域観光周遊ルートの世界水準への改善**
  - ・修景や体験プログラム開発等に国から専門家チーム（パライトチーム）を派遣
- **東北の観光復興**
  - ・東北6県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊（2015年の3倍）に

## 2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

- **観光関係の規制・制度の総合的な見直し**
  - ・通訳案内士、ラジオペレーター、宿泊業等の抜本見直し
- **民泊サービスへの対応**
  - ・現行制度の枠組みにとらわれない宿泊法制度の抜本見直し（本年6月中目途に検討会とりまとめ）
- **産業界ニーズを踏まえた観光経営人材の育成強化**
  - ・2020年までに、トップレベルの経営人材の恒常的な育成拠点を大学院段階（MBAを含む）に形成
- **宿泊施設不足の早急な解消及び多様なニーズに合わせた宿泊施設の提供**
  - ・旅館等におけるインバウンド投資などを促進
- **世界水準のDMOの形成・育成**
  - ・2020年までに、世界水準DMOを全国で100形成
- **「観光地再生・活性化ファンド」の継続的な展開**
  - ・観光まちづくりに関する投資や人材支援を安定的・継続的に提供できる体制を整備
- **次世代の観光立国実現のための財源の検討**
  - ・観光施策に充てる国の追加的な財源確保策を検討
- **訪日プロモーションの戦略的高度化**
  - ・海外著名人の日本文化体験映像を海外事務局で配信
- **インバウンド観光促進のための多様な魅力の対外発信強化**
  - ・在外公館や放送コンテンツなどを活用した情報発信
- **MICE誘致の促進**
  - ・政府レベルでの誘致支援体制の構築
- **ビザの戦略的緩和**
  - ・中国、フィリピン、バトナム、インド、ロシアの5ヶ国を対象
- **訪日教育旅行の活性化**
  - ・「2020年までに4万人から5割増」の早期実現
- **観光教育の充実**
  - ・総合的な学習の時間等における教材の作成・普及
- **若者のアウトバウンド活性化**
  - ・若者割引等のサービス開発を通じた海外旅行の推進

## 3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

- **最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現**
  - ・世界最高水準の顔認証技術の導入などを促進
- **民間のまちづくり活動等による「観光・まち一体再生」の推進**
  - ・宿泊施設や観光バス乗降場等の整備促進
- **キャッシュレス環境の飛躍的改善**
  - ・2020年までに、主要な観光地等における「100%のクレジットカード対応化」などを実現
- **通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きできる環境の実現**
  - ・無料Wi-Fi環境とSIMカードの相互補完の利用促進
- **多言語対応による情報発信**
  - ・中小事業者のWEBサイトの約半分を多言語化
- **急患等にも十分対応できる外国人患者受入体制の充実**
  - ・2020年までに、外国人患者受入体制が整備された医療機関を全国100箇所整備（現在の約5倍）
- **「世界一安全な国、日本」の良好な治安等を体感できる環境整備**
  - ・外国語対応可能な警察職員の配置等の体制整備
- **「地方創生回廊」の完備**
  - ・「ジャパン・レールパス」を訪日後でも購入可能に
- **地方空港のゲートウェイ機能強化とLCC就航促進**
  - ・複数空港の一体運営（コンセッション等）の推進
- **クルーズ船受入の更なる拡充**
  - ・2020年に訪日クルーズ旅客を500万人に
- **公共交通利用環境の革新**
  - ・主要な公共交通機関の海外インターネット予約を可能に
- **休暇改革**
  - ・2020年までに年次有給休暇の取得率を70%に
- **オパラに向けたユニバーサルデザインの推進**
  - ・高い水準のユニバーサル化と心のバリアフリーを推進

### 無料公衆無線LAN整備促進協議会

- 総務省と観光庁が協力して、無料公衆無線LAN環境を整備するべく、平成26年8月に「無料公衆無線LAN整備促進協議会」を設置。

#### <取組内容>

##### 整備促進

- ・無料公衆無線LANの整備状況を把握し、整備方針を作成
- ・エリアオーナーや通信事業者に利用可能エリア拡大の働きかけ

##### 周知・広報

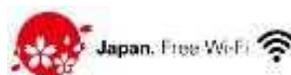
- ・共通シンボルマーク（「Japan. Free Wi-Fi」マーク）の普及促進
- ・無料公衆無線LANの利用場所等の「見える化」・海外への情報発信

##### 認証の簡素化・一元化

- ・事業者の枠を超えて、認証の連携による簡素化等を実現する方策の検討・実証実験



<第1回幹事会 (H26.8.29)の様子>



### 電波法の一部改正

- 第189回通常国会において、電波法の一部を改正。

(公布：平成27年5月22日、施行：平成28年5月21日)



外国人旅行者等が海外から一時的に持ち込むWi-Fi端末等について、電波法上に定める技術基準適合する場合に国内での利用が可能に。

### <事例> NTTグループ整備スポット数

平成24年3月末から比較すると、約48倍に飛躍的に増加。

約145,000\*

約3,000

平成24年3月末

平成28年10月時点

\*Japan Connected-free Wi-Fi

### <事例> 交通機関における無料公衆無線LANの導入

#### <鉄道駅>

- 東京都営地下鉄では平成28年2月より、東京都営地下鉄車両内における無料公衆無線LANの試行サービスを開始（都営浅草線の1編成）。今後、平成32年3月までに東京都営地下鉄全編成への導入。
- 東京メトロでは平成28年6月より、無料公衆無線LANサービスを東京メトロ全駅に拡大。併せて、平成28年度から車両内におけるサービスも順次導入。
- 東武鉄道では平成28年3月より、新たに101駅増の計122駅に無料公衆無線LANサービスを提供。



東京メトロ・東京都営地下鉄ステッカー



東武鉄道ポスター

#### <バス>

- 東京都営バスでは平成25年12月より、バス全路線に無料公衆無線LANサービスを提供。

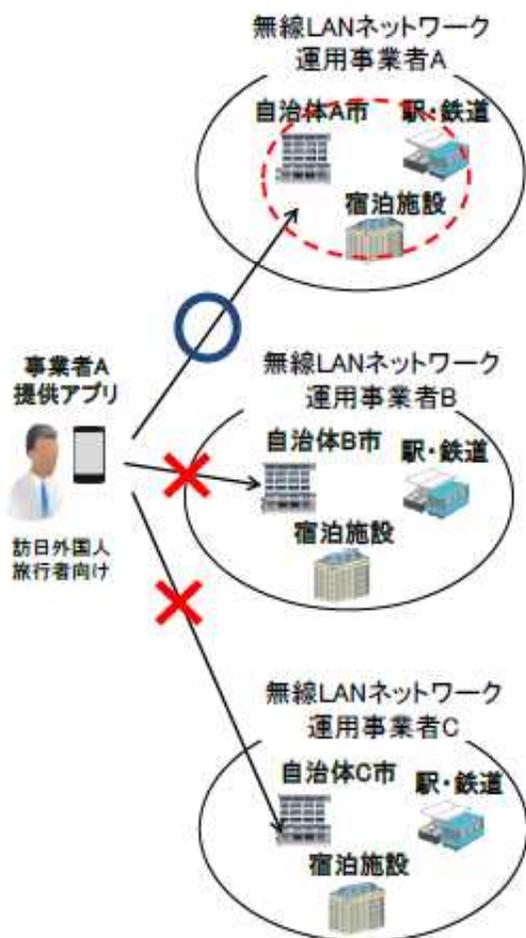


東京都営バスステッカー

## 利用開始手続きの簡素化・一元化に係る実証実験により目指す社会像 3

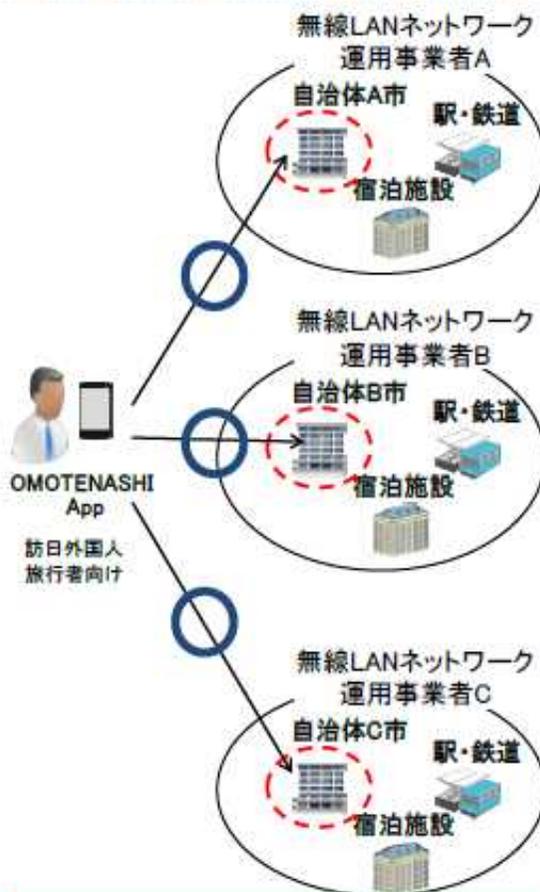
### 現在

- 無線LANネットワーク運用事業者毎に接続方式が異なるため、例えば、無線LANネットワーク運用事業者Aが提供するWi-Fi接続アプリは、他の無線LANネットワーク運用事業者のネットワークエリアでは接続ができない。



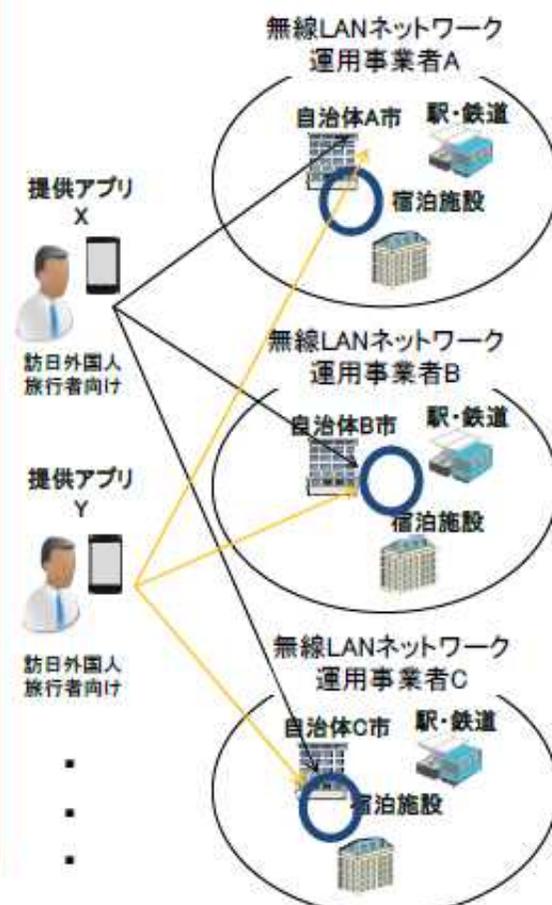
### 今回の実証実験

- 複数の無線LANネットワーク運用事業者間で接続可能な技術<sup>(※)</sup>の共通仕様を作成。
- 主に、**実証実験に参加する自治体間で無線LANネットワーク運用事業者間の垣根を越えて接続が可能か実地検証を行う。**



### 将来（イメージ）

- 自治体に限定せず**エリアオーナーが参画を希望すれば、共通仕様を活用してシームレスなWi-Fi接続が可能。**



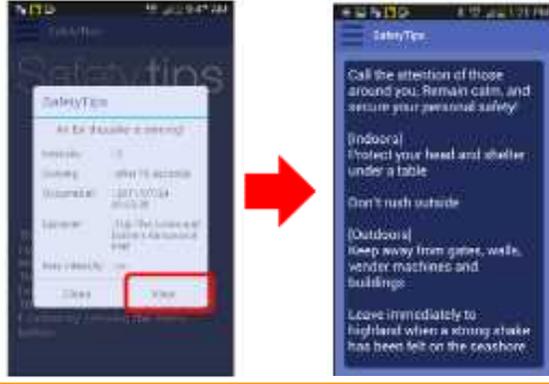
(※)Web API方式(認証サーバとWi-Fi接続アプリ間のやり取りの手順、形式を規定した方式)

『観光ビジョン実現プログラム2016』に基づき外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」の機能向上と外国人の訪問地等でのPRを行う。

## 地震・津波への対応

緊急地震速報、津波警報をプッシュ型で自動的に通知し、取るべき初動対応を表示。災害概要についても解説

### 緊急地震速報



### 津波警報



### コミュニケーションカード



【その他機能】  
 ・災害時に使用できるローカルコンテンツとして、周囲の状況に照らした避難行動を多言語で示した避難フローチャートや、周りの人から情報を取るためのコミュニケーションカードがある。

## 27年度の取組

・26年度に提供を開始した「Safety tips」について、機能向上を実施。

【向上した機能の例】



通知機能に大雨警報等の気象特別警報、噴火速報を追加



対応言語に中国語、韓国語、日本語を追加

## 28年度の取組

### ◇平成28年5月に外国人へのグループインタビューを実施



・「Safety tips」が対応する4言語圏【英、中（繁体/簡体）、韓】から各15名、合計60名の外国人を参集  
 ・各言語別に各3回、計12回のグループインタビューを実施

### ◇並行して外国人の訪問地等でのPRを実施



【レンタカー事務所】 【空港】 【機内誌】

さらに平成28年度中に、外国人目線で抽出された改善提案(110番等、緊急時の連絡先の追加、外国人の受入可能な医療機関情報リストの追加等)について機能向上を実施予定



# 観光庁平成28年度第二次補正予算

# 訪日外国人旅行者受入基盤整備・加速化事業

- 訪日外国人旅行者数4,000万人、6,000万人の実現に向けて、訪日外国人旅行者の受入環境の整備が急務。
- ハード・ソフト両面からの受入環境整備を通じた訪問時・滞在時の利便性向上を図り、世界最高水準の観光拠点の整備を加速化。

## 訪日外国人旅行者受入基盤整備事業<ハード系事業>

※観光拠点を中心として面的に受入基盤を整備していくもの

### <支援メニュー例>

- ・ 観光案内所その他観光拠点情報・交流施設の整備・改良
- ・ 案内標識、可変式情報表示装置の多言語表記等  
(設備が公共性のある施設と一体不可分の関係にあるもの)



- ・ 交通施設のバリアフリー化  
(鉄軌道駅等のエレベーター、スロープ等)



- ・ ホームドア

## 訪日外国人旅行者受入加速化事業<ソフト系事業>

### <支援メニュー例>

- ・ 宿泊施設  
(無料公衆無線LAN環境の整備、トイレの洋式化等)
- ・ 案内標識、可変式情報表示装置の多言語表記等  
(訪日外国人旅行者受入基盤整備事業以外のもの)
- ・ ホームページ・案内放送の多言語化
- ・ 交通系ICカード



- ・ 企画乗車船券の発行
- ・ 無料公衆無線LAN環境の整備
- ・ 手ぶら観光カウンター



広域観光周遊ルート内の観光拠点等において、訪日外国人旅行者の受入環境整備を面的に整備

○ 訪日外国人旅行者数4,000万人、6,000万人の実現に向けて、訪日外国人旅行者の受入環境の整備が急務。  
 ○ ハード・ソフト両面からの受入環境整備を通じた訪問時・滞在時の利便性向上を図り、世界最高水準の観光拠点の整備を加速化。

## 具体的な取組

### 交通サービスインバウンド対応支援事業

#### ■公共交通機関のユニバーサルデザイン化



(リフト付きバス)

(ノンステップバス)



(ユニバーサルデザインタクシー)



#### ■交通系ICカード



#### ■無料公衆無線LAN環境の整備、多言語表記等



等

### 訪日外国人旅行者受入基盤整備事業

#### ■鉄道駅の段差解消



#### ■ホームドア等の設置



#### ■多機能トイレの設置



#### ■LRTシステムの整備



(停留施設)

#### ■バスターミナルの段差解消

#### ■旅客船ターミナルの段差解消

#### ■航空旅客ターミナルの段差解消



等

### 地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業

#### ■観光案内所の整備・改良



外国人観光案内所

#### ■観光拠点情報・交流施設の整備・改良



観光拠点情報・交流施設



#### ■手ぶら観光カウンターの機能向上

等



### 宿泊施設インバウンド対応支援事業

#### ■無料公衆無線LAN環境の整備、多言語表記等

#### ■トイレ洋式化

#### ■タブレット端末の整備

等

### 訪日外国人旅行者受入加速化事業

→ 上記の3事業から [ ] を除いた部

## 訪日外国人旅行者受入基盤整備・加速化事業費補助金

(地方での消費拡大に向けた環境整備(観光案内・地域情報発信))

訪日外国人旅行者にとって利用しやすい観光案内所の整備を促進するため、観光案内所の開設や機能向上にかかる経費等の一部について支援

1. 補助対象事業者 民間事業者、地方公共団体及び協議会等で、日本政府観光局が、**カテゴリ-II以上の認定をしている又は認定する見込みがある案内所**

2. 補助率 国 : 1/3

### 基盤整備 (ハード)

#### 基幹事業



観光案内所開設・改修等

※基盤整備(ハード)事業は、基幹事業を必ず実施することが条件となります。

#### 効果促進事業



案内地図



案内看板



デジタルサイネージ

### 加速化 (ソフト)



スタッフ研修費



ホームページ等  
コンテンツ



無料公衆無線LAN



タブレット

## 訪日外国人旅行者受入基盤整備・加速化事業費補助金

(地方での消費拡大に向けた環境整備(観光拠点情報・交流施設))

訪日外国人旅行者を含む旅行者が「観光名所」に関する情報や、交流機会(体験・学習等)が得ることができる「観光拠点情報・交流施設」の取組を支援するため、施設の整備・改良、設備の設置等に要する経費の一部について支援

1. 補助対象事業者 民間事業者、地方公共団体及び協議会等
2. 補助率 国 : 1 / 3

### 基盤整備(ハード)

#### 基幹事業



観光拠点情報・交流施設の  
開設・改修等

※基盤整備(ハード)事業は、  
基幹事業を必ず実施することが  
条件となります。

#### 効果促進事業



案内標識等



デジタルサイネージ



展示設備

### 加速化(ソフト)



ホームページ等  
コンテンツ



タブレット



無料公衆無線LAN

主要な観光地（※）における

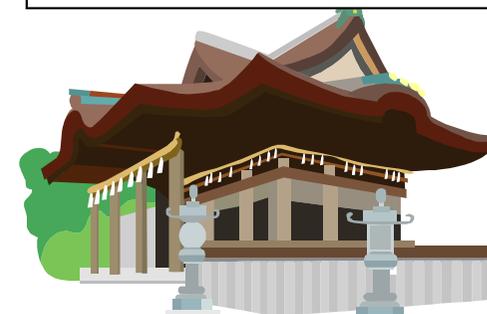
- ①観光拠点（地域の観光名所）に関する情報提供
- ②観光拠点に関連した交流機会（体験・学習等）の提供を目的とした施設であって、
- ③訪日外国人旅行者を含む不特定多数の観光客が随時かつ快適に利用できるもの  
(商業施設、劇場、レジャー施設、スポーツ施設、遊技場その他これらに類する施設で営利を目的とする企業が運営するものを除く。)

※広域観光周遊ルートの観光拠点などインバウンド受入に取り組む地域

駅、空港 等



観光拠点



観光拠点情報・交流施設



※ 写真の施設はあくまで対象施設の規模感についてのイメージ例

- ・観光拠点に関する情報提供
- ・交流機会の提供

(例)



観光拠点に  
縁のある人物の  
仮装体験



観光拠点に  
関する学習

# 補助対象経費の整理 (外国人観光案内所)

|  | 基盤整備補助金                         |                            | 加速化事業                 |
|--|---------------------------------|----------------------------|-----------------------|
|  | 基幹事業                            | 効果促進事業                     |                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料公衆無線LAN環境の整備</li> <li>・案内標識</li> <li>・デジタルサイネージ</li> </ul>             | 設置工事を伴うもの                       |                            | 設置工事を伴わないもの           |
|  | 設置・取付工事                         | 機器の購入費等                    | 機器の購入費等               |
| 開設又は上記以外の機能向上を図るための改修等に必要な工事   | 建築・改修工事等<br>仮設工事等<br>設計費及び工事管理費 |                            |                       |
| 設備   |                                 | △<br>(移動して使用することを前提としない設備) | ○                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ研修</li> <li>・ホームページ</li> <li>・案内放送の多言語化</li> <li>・コンテンツ作成</li> </ul> |                                 |                            | 多言語化（最低限英語）に対応するための経費 |
| タブレットの購入   |                                 |                            | 端末本体及び付属品の購入費         |

※応募期間：平成28年11月30日（水）～平成28年12月16日（金）17時<必着>

審査結果の通知（内示）は1月上旬、交付決定は1月末を予定。

※平成29年3月31日までに自己評価を実施できるよう本事業による受入環境整備を行うこと。

|   | 基盤整備補助金                         |                            | 加速化事業                 |
|---|---------------------------------|----------------------------|-----------------------|
|   | 基幹事業                            | 効果促進事業                     |                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料公衆無線LAN環境の整備</li> <li>・展示設備</li> <li>・案内標識</li> <li>・デジタルサイネージ</li> </ul> | 設置工事を伴うもの                       |                            | 設置工事を伴わないもの           |
|   | 設置・取付工事                         | 機器の購入費等                    | 機器の購入費等               |
| 開設又は上記以外の機能向上を図るための改修等に必要な工事  | 建築・改修工事等<br>仮設工事等<br>設計費及び工事管理費 |                            |                       |
| 設備  |                                 | △<br>(移動して使用することを前提としない設備) | ○                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ</li> <li>・案内放送の多言語化</li> <li>・コンテンツ作成</li> </ul>                     |                                 |                            | 多言語化（最低限英語）に対応するための経費 |
| タブレットの購入  |                                 |                            | 端末本体及び付属品の購入費         |

※応募期間：平成28年11月30日（水）～平成28年12月16日（金）17時<必着>

審査結果の通知（内示）は1月上旬、交付決定は1月末を予定。

※平成29年3月31日までに自己評価を実施できるよう本事業による受入環境整備を行うこと。

# 【参考事例】外国人観光案内所

地域が普段使いできる“場”と外国人旅行者が訪れる“場”をセットにすることで賑わいを演出。入りやすくワンストップサービスが提供可能な観光案内所を実現し、地域交流の場としても活用。

## 「おいでなして！NAGANO」（長野駅構内）

改装前



カフェと融合

改装後



- ◇ カテゴリー : カテゴリー 2
  - ◇ 営業開始 : 平成27年2月20日
  - ◇ 運営形態 : 案内所×カフェ
- 【案内所】長野市観光情報センター  
【カフェ】BECK'S COFFEE SHOP

## 仙台市観光情報センター（仙台駅構内）

改装前



旅行代理店と融合

改装後



- ◇ カテゴリー : カテゴリー 2
  - ◇ 営業開始 : 平成28年4月28日
  - ◇ 運営形態 : 案内所×旅行代理店（びゅうプラザ）
- 【案内所】仙台市観光情報センター  
【両替所】トラベラックスジャパン(株)  
【旅行代理店】(株)びゅうトラベルサービス  
【手ぶら・免税】ヤマト運輸(株)

## 商業施設



日本橋観光案内所（COREDO室町1内）  
設置主体：三井不動産株式会社  
【カテゴリーⅡ】



東京シティアイ（KITTE内）  
設置主体：日本郵便株式会社  
【カテゴリーⅡ】

## バスターミナル



クロネコヤマト OCATセンター  
（大阪シティエアターミナル内）  
設置主体：ヤマト運輸株式会社  
【カテゴリーⅠ】

## 駅（民鉄事業者）



大阪ビジュアルインフォメーションセンター・難波  
/南海インフォメーションセンター  
設置主体：南海電気鉄道株式会社【カテゴリーⅢ】



# 中部運輸局の取組



### 設置の背景

○かつてないペースで訪日外国人旅行者数が伸びていく中、訪日外国人を万全に受け入れる体制を充実させることが必要。



各ブロックの地方運輸局、地方整備局、地方航空局や都道府県、関係事業者等を構成員とする「**訪日外国人旅行者の受入に向けた地方ブロック別連絡会**」を設置・開催し、訪日外国人を受け入れる上での**現状と課題をしっかりと把握し、必要な手立てを迅速に講じる。**

### 訪日外国人旅行者数の受入に向けた地方ブロック別連絡会（平成27年設置）

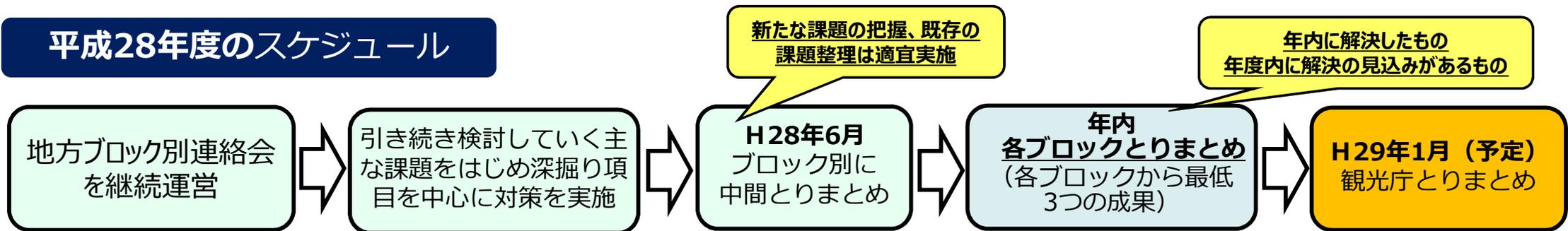
#### 構成員例

地方運輸局、地方整備局、地方航空局、都道府県・政令市、関係事業者・団体（交通、旅行、宿泊等）、日本観光振興協会（各支部） 等

#### 課題例

- ・ 空港・港のC I Q体制の整備
  - ・ 観光バス駐車スペースの確保
  - ・ 観光案内所、道の駅、みなとオアシス等の観光案内機能の向上
  - ・ 空港容量、貸切バス、宿泊施設等の供給の確保
  - ・ 無料Wi-Fi環境、多言語案内表示の整備
- 等

### 平成28年度のスケジュール





(平成28年6月24日開催)

### (中間取りまとめ)

#### 中部ブロック連絡会の現状把握・課題の概要 (合計92件)

##### ○ 観光産業

- ・宿泊施設におけるインバウンド対応
- ・ホテル容量不足、繁閑差解消
- ・通訳ガイドの確保
- ・各施設の受入意識の醸成
- ・人材育成 等

##### ○ 観光地域づくり

- ・**Wi-Fi環境の整備** (昇龍道エリア一体での提供、各地域・施設等における整備)
- ・手ぶら観光 (ハンズ・フリー・ショッピング) の促進
- ・観光案内所における情報発信強化・機能向上
- ・決済環境 (カード利用、両替等) の改善
- ・消費税免税店の拡大
- ・ムスリム旅行者受入対応
- ・多言語対応の強化・推進 (観光地、施設、飲食店、商店、公共交通機関、道路等)
- ・観光地等における情報発信整備
- ・着地型ツアー 等

##### ○ 二次交通

- ・貸切バスの手配
- ・深夜早朝に到着する国際空港便に対応した二次交通の確保
- ・中部国際空港・富士山静岡空港からのアクセスの向上
- ・貸切バス駐車場の確保
- ・鉄道のインバウンド対応強化
- ・駅の利便性確保
- ・複数交通事業者・多モード間による周遊きっぷの設定
- ・標識・案内看板の多言語化
- ・アクセス道路整備、渋滞緩和対策 等

##### ○ 空港・港湾

- ・C I Q体制の整備
- ・空港施設の収容能力
- ・空港内のサービス対応
- ・大型クルーズ船寄港時の観光案内
- ・港における受入環境整備 等



# 昇龍道プロジェクトの動き

訪日外国人旅行者の増加を図るため、**中部北陸9県の産官が広域的に連携したプロジェクト**

## ■ 昇龍道プロジェクト推進協議会

協議会会員数： 1,895者（H28年11月末現在）

推進体制（平成24年3月設置）

会長： 豊田鐵郎 中部経済連合会会長

副会長： 久和 進 北陸経済連合会会長

事務局： 中部運輸局、北陸信越運輸局、中部広域観光推進協議会



昇龍道プロジェクトの2大方針

**海外：一貫したプロモーション**

⇒海外のメディア、旅行会社、ブロガー等の招請

海外へのミッション団の派遣

協議会の下に置かれた部会にて海外市場を共同研究 等

**国内：観光力とホスピタリティ強化**

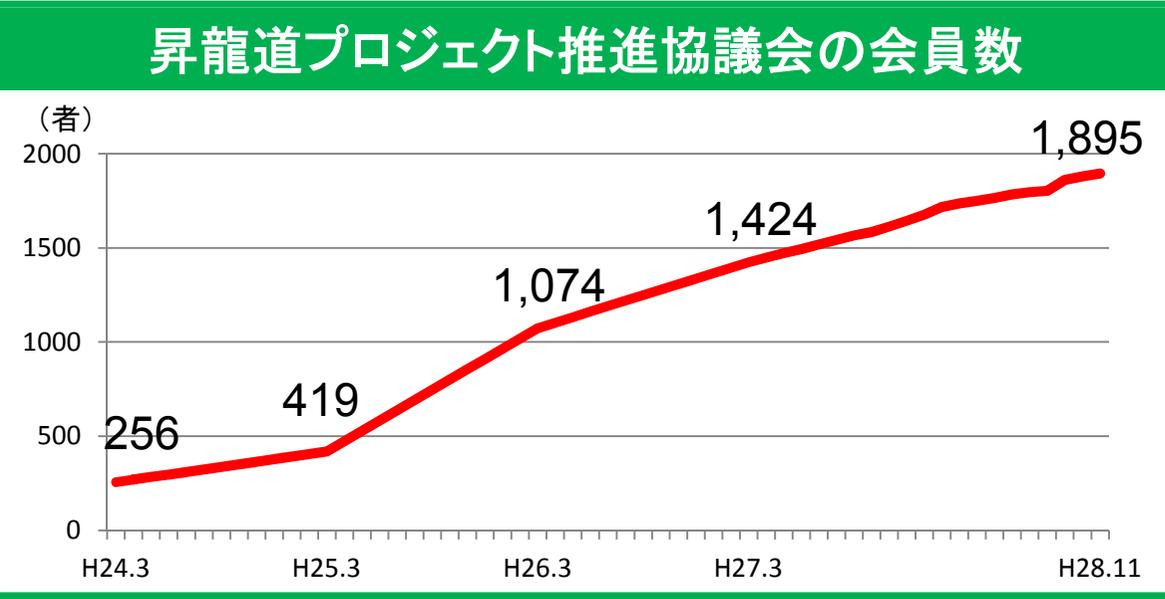
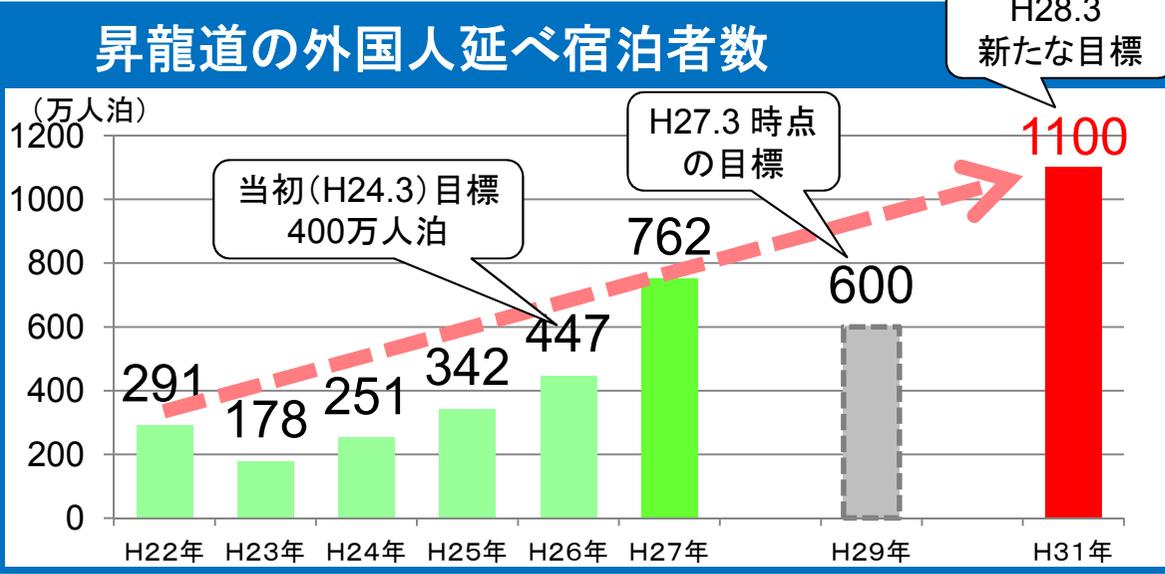
⇒外国人受入環境の整備

交通利用の利便性向上

協議会の下に置かれた分科会にて先行事例等を共同研究 等

# 昇龍道プロジェクトの推進

○ 訪日外国人旅行者の増加を図るため  
中部北陸9県の産官が広域的に連携

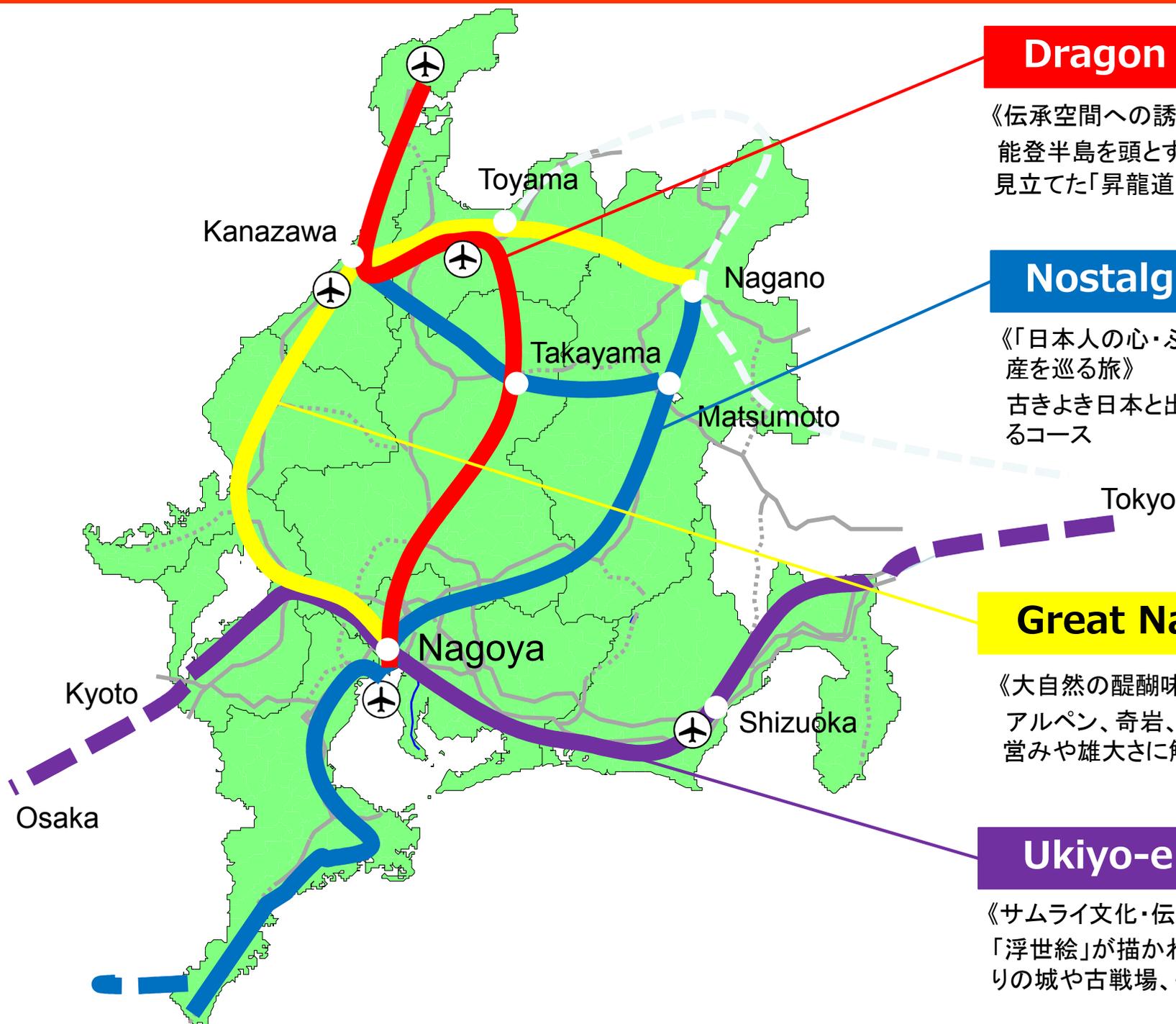


# 昇龍道エリアの延べ宿泊者数（全／外）

単位:万人泊

| 県別     | ①全宿泊者数 |        |        | ②外国人宿泊者数 |       |       | 外国人比率 |       |
|--------|--------|--------|--------|----------|-------|-------|-------|-------|
|        | 平成27年  | 平成28年  | 伸び率    | 平成27年    | 平成28年 | 伸び率   | 平成27年 | 平成28年 |
| 富山県    | 298    | 249    | -16.6% | 16       | 15    | -1.8% | 5.3%  | 6.2%  |
| 石川県    | 641    | 637    | -0.7%  | 38       | 47    | 25.6% | 5.9%  | 7.4%  |
| 福井県    | 315    | 282    | -10.7% | 4        | 4     | -0.3% | 1.3%  | 1.4%  |
| 長野県    | 1,510  | 1,416  | -6.2%  | 71       | 92    | 28.1% | 4.7%  | 6.5%  |
| 岐阜県    | 503    | 472    | -6.3%  | 67       | 74    | 10.0% | 13.4% | 15.7% |
| 静岡県    | 1,695  | 1,615  | -4.7%  | 134      | 130   | -3.5% | 7.9%  | 8.0%  |
| 愛知県    | 1,247  | 1,249  | 0.2%   | 180      | 180   | -0.2% | 14.4% | 14.4% |
| 三重県    | 687    | 748    | 8.9%   | 26       | 29    | 10.8% | 3.8%  | 3.9%  |
| 滋賀県    | 405    | 352    | -13.1% | 33       | 37    | 9.8%  | 8.2%  | 10.4% |
| 中部管内計  | 4,448  | 4,366  | -1.8%  | 412      | 416   | 1.1%  | 9.3%  | 9.5%  |
| 昇龍道9県計 | 7,302  | 7,019  | -3.9%  | 570      | 607   | 6.5%  | 7.8%  | 8.6%  |
| 全国     | 37,770 | 37,168 | -1.6%  | 4,856    | 5,423 | 11.7% | 12.9% | 14.6% |

# 「昇龍道」の4つのモデルコース



## Dragon Course

《伝承空間への誘い》  
能登半島を頭とする龍が天に昇っていく様子に見立てた「昇龍道の象徴的なコース」

## Nostalgic Course

《「日本人の心・ふるさと」お伊勢参りと世界遺産を巡る旅》  
古きよき日本と出会い、「日本人の心」に触れるコース

## Great Nature Course

《大自然の醍醐味 アルペンと古代探訪の旅》  
アルペン、奇岩、古代湖などの「大自然」の営みや雄大さに触れるコース

## Ukiyo-e Course

《サムライ文化・伝統技術リアル体験》  
「浮世絵」が描かれた時代をつくったサムライゆかりの城や古戦場、ものづくりを体験するコース

## 広域共通の観光テーマについてストーリー化する事業を広域連携で展開

中部北陸9県は、日本の「まんなか」

広域共通の観光テーマ

「酒と食」の  
おいしいコラボ  
レーション

「山車・からく  
り」は、ものづ  
くりのルーツ

戦国～江戸期  
の「サムライ」  
の歴史文化

自動車、航空  
機、伝統工芸  
等の「ものづく  
り」

日本アルプ  
ス、富士山、  
白山等の卓越  
した「山岳」

様々な龍にま  
つわる「龍伝  
説」

広域で取り  
組む事業

「昇龍道  
日本銘酒  
街道」

「昇龍道  
山車・からく  
り街道」

「昇龍道  
サムライ街道」

「昇龍道  
ものづくり  
街道」

「昇龍道  
山岳紀行」

「昇龍伝説  
紀行」

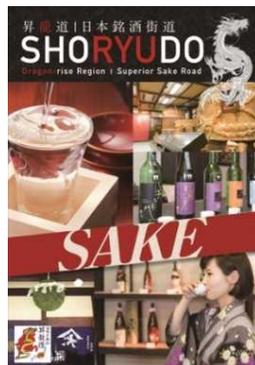
広域共通の観光テーマについてストーリー化 + その他の多様な観光資源

訪日外国人が嗜好に応じて多様な楽しみ方で広域周遊

## ■ 昇龍道日本銘酒街道

### 〈これまでの取組〉

- ・「お酒と食のおいしい組み合わせ」選定
- ・「昇龍道日本銘酒街道パンフレット」作成
- ・外国人旅行者への接遇対応力向上セミナー開催



### 〈今後の取組〉

- ・地域紹介メッセージ・お酒に係るアクティビティ・イベント情報を多言語WEBサイトに掲載

## ■ 昇龍道山車・からくり街道

### 〈これまでの取組〉

- ・外国人目線による「山車・からくり」関連施設のモニターツアーを実施
- ・「山車・からくり」パンフレット作成
- ・プロモーション動画作成
- ・ユネスコ登録を契機とした山車・からくり親しむ交流会を開催



### 〈今後の取組〉

- ・観光地域づくりのためのワークショップ開催

## ■ 昇龍道サムライ街道

### 〈これまでの取組〉

- ・観光資源のストーリー化と資源の磨き上げのための計画策定

### 〈今後の取組〉

- ・昇龍道多言語ウェブサイトにもサムライ関連のスポットやサムライの暮らし等が感じられるウェブページを公開



## ■ 昇龍道ものづくり街道

### 〈これまでの取組〉

- ・観光資源のストーリー化と資源の磨き上げのための計画策定
- ・「昇龍道ものづくり銘選」の選定

### 〈今後の取組〉

- ・昇龍道多言語ウェブサイト「ものづくり街道ウェブページ」を公開



## ■ 昇龍道山岳紀行

### 〈今後の取組〉

- ・海外市場での「山岳」に関する観光資源の嗜好調査を実施し、海外へ発信するためのストーリー化を検討。資源の磨き上げ方法や海外への効果的な情報発信方法の計画策定を行う。



## ■ 昇龍伝説紀行

### 〈これまでの取組〉

- ・昇龍道の「龍伝説」があるスポットを巡るスタンプラリー、「昇龍伝説紀行スタンプラリー」を実施

### 〈今後の取組〉

- ・観光資源のストーリー化と資源の磨き上げのための計画策定

